

实践哲学研究

第 31 号

実践哲学研究

第 31 号

だれがどこで会話をするのか ―― 会話の倫理学へむけて ――
…………… 水谷 雅彦 ()

カント倫理学における背進的方法と前進的方法
―― 『道徳形而上学の基礎づけ』第2章の一つの読み方 ――
…………… 北尾 宏之 ()

企業の道徳的行為者性を擁護する
―― デイヴィッド・ゴティエの理論を応用する試み ――
…………… 杉本 俊介 ()

彙 報 …………… ()

京都大学文学部倫理学研究室

実践哲学研究会

彙報

2008 年度倫理学講義題目

講義

教授	水谷雅彦	倫理学概論
----	------	-------

特殊講義

教授	水谷雅彦	リベラリズム批判の諸相
----	------	-------------

講師	柳澤有吾	障害学の現在
----	------	--------

講師	成田和信	幸福をめぐって
----	------	---------

演習

教授	水谷雅彦	倫理学第二演習
----	------	---------

教授	水谷雅彦	応用倫理学演習
----	------	---------

講師	北尾宏之	I. Kant: <i>Grundlegung zur Metaphysik der Sitten</i>
----	------	---

人間・環境学	佐藤義之	レヴィナスを読む
--------	------	----------

研究科准教授		
--------	--	--

趣旨

われわれの社会が直面している現今の状況は、倫理学の重要性を日増しに痛感させるものである。しかしながら、ひとくちに倫理学といってもその対象は多岐にわたる。諸分野の共同なしには研究の進展はない。それゆえ、われわれ京都大学倫理学研究室大学院生は、みずからの研究を公にすることによって、広く諸姉兄の批判と判断を仰ぎ、各自の問題意識を深めると同時に相互の交流を図るべく、ここに『実践哲学研究』を発行する。

後記

1. 本年もここに第 31 号をお届けすることができました。これもひとえに皆様の貴重なご意見と暖かいご援助の賜物と感謝致しております。今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。
2. 本号掲載論文に関して、例年通り合評会を行う予定です。皆様の忌憚のないご批評をいただきたく、ご参加を心よりお待ち申し上げます。日時と場所につきましては、あらためてご連絡申し上げます。
3. 当会では賛助会員制度を設け、会誌の読者の皆様にご支援をお願いしております。例年多数の方々のご協力をいただき、誠にありがとうございます。当会では会誌の充実になお一層の努力を致す所存でございますので、今後とも何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

発行 実践哲学研究会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部倫理学研究室内
郵便振替 01020-1-27560

発行日 2008 年 11 月 1 日
定価 1050 円(本体 1000 円)

事務局

京都大学大学院文学研究科思想文化学系
倫理学専修大学院学生共同研究室

代表

水谷雅彦

STUDIEN
ZUR
PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
(JISSENTETSUGAKU KENKYU)

Nr. 31 November 2008

INHALT

Who makes conversation and where?

—— An Essay Toward Conversation Ethics ——

..... MIZUTANI Masahiko ()

Regressive Methode und Progressive Methode in Kants Ethik

—— Eine Interpretation von *Grundlegung II* ——

..... KITAO Hiroyuki ()

In Defence of Corporate Moral Agency

—— Applying David Gauthier's Theory to Business Ethics ——

..... SUGIMOTO Shunsuke ()

Verschiedenes ()

VERÖFFENTLICHT UND HERAUSGEGEBEN VON
DER GESELLSCHAFT FÜR STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN
PHILOSOPHIE AN DER UNIVERSITÄT KYOTO
(KYOTO DAIGAKU JISSENTETSUGAKU-KENKYU-KAI)
KYOTO JAPAN